

KK2年キャリア意識形成

第3回 「自己理解②」

月曜3限

担当講師 角田伸彦

前回の学習

自己理解①では自分をより理解するために
他者（友人や家族）から自分についての意見を聴いてもらいました。
おそらく、意外な回答が返ってきて驚いた人もいるでしょう。
大事なことは、どれが本当の自分かの答えを探すのではなく、「そういう見方もあるのか」という視点を持つことです。

正解はありません。あるいは、すべてが正解なのかもしれません。

「自分のことは自分が一番わかっている」というのは90歳の老人なら
そうかもしれませんが、若い経験の浅い人にはあり得ません。

これからの経験のなかで自分自身が変化する可能性があるのです。
今の時点で確定的なことはありません。

これまでの生育や生得的な資質によってさまざまな「自分」を感じて
いるのですが、絶対的ではありません。

これは言い換えるなら、「可能性」に満ちているということです。

若いというのはそういうことなのだと思います。

まじめで几帳面な性格、裏を返せば慎重過ぎてチャレンジできない人
ということになるのかも・・・

上の場合、おそらくどちらも正しいと考えることができます。

いつも静かで落ち着いている人（ポジティブ）



思ったことが言えずいつも黙っている人
あるいは、自分から発言できない人（ネガティブ）

ポジティブな評価とネガティブな評価は共存します。

自己理解とは

自分について一つの側面からだけではなく、別の側面からも考えていくことで深まるのです。

企業によって、あるいは面接担当者によって
ひとりの学生をどう理解するのかは違ってきます。
こういう人でなければ就職できないということはないのです。
つまり、決まった正解はありません。
この授業は、ハウツーを教えません。各人が考えることを求めます。
これからの授業でじっくり自分について考えていきましょう。

ここまでの話、理解できましたか。

今、あなたは何に興味をもっていますか？

それは趣味ですか？

それは学問ですか？

それはスポーツをすることですか？

それは部活やサークル活動ですか？

それはボランティアですか？

それはアルバイトですか？

それは……etc.

ワーク: あなたが興味をもっていることを
書き出し、その理由を述べなさい。

このワークが第3回のレポートです。

添付の用紙で提出してください。

締め切りは5月22日、20時

質問がある場合は kakudan@aitech. ac. jp まで

次の2枚のスライドは余談です。
しかし、大切なことだと考えます。

人生に正解はあるの？

人は一人ひとり違います。同じ人生はあり得ません。似たような人生はあります。しかし、すべて違います。

高校までの学習は、予め正解とされるものに到達するように教えられてきました。大学の授業は少し違ってきます。

勉強したこと(情報)を基にして、論理的に考え自分なりの解答を導き出す。ですから、正解が用意されていないことが多いのです。

知識を問うだけの問題であれば、正解は明白でしょう。しかし、考え方を問うのであれば、正解はたくさん存在します。

社会は全く複雑なのです。皆さんはその社会に出る前の準備をするのです。

大学で、生きていくために必要な知恵と知識とスキルを獲得しましょう。

大学の授業

大学は高等教育の場です。

中学・高校は中等教育です。小学校は初等教育といいます。

日本の教育ではこのように切り分けています。

特に大学では、単に知識を覚えるのではなく、**考察**することが求め

られます。つまり、テキストや資料、更にメディアなどから情報を得て、それらを基に考えることが重要になります。

皆さんはすでに1年間大学教育を経験してきました。高校との違いを感じていると思います。

もし、皆さんが欲しいと思う情報を何でも講師が持っており、出してくれるという考えではなく自分で調べることが重要です。

自分で考え、自分で調べ、また考える。そして自分なりの解答を出す。

この繰り返しが「学問」をすることです。

与えられた情報(テキスト)を覚えて筆記試験で点を取るだけではダメです。